学校番号	１００７

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	バイエル等、各種エチュード						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、２年次に身に付けた鍵盤楽器の基礎的な奏法を踏まえ、応用的な奏法を身につけることを目的とします。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的・応用的な技能を身につける
【思考力、判断力、表現力等】
音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持つことができるようにする
【学びに向かう力、人間性等】
音楽性豊かな表現を追求する態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要な基礎的な技能を身につけている	音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している	音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 2 3	ピアノ	「ピアノの基礎的な奏法」 ・和音を伴って ・分散和音を伴って ・基礎的な楽曲 「ピアノの応用的な奏法」 ・エチュード ・ブルグミュラー ・ツェルニー ・ソナチネ 等	a:楽曲の表現内容について理解を深めるとともに、創造的に演奏表現するために必要なピアノの基礎的な技能を身につけている b:音楽性豊かな表現について考え、表現意図を持って演奏している c:音楽性豊かな表現を追求すし、主体的に演奏活動に取り組んでいる	実技試験	実技試験 聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度